

グループホーム「櫻」第14回運営推進会議議事録

日時 平成21年12月22日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 2F 食堂(居間)
出席者 運営推進会議委員
逗子市福祉部 介護保険課長 舘 兼 好
葉桜自治会 副会長・福祉部長 杉 浦 強 司
逗子市民生委員 秋 山 比出夫
社協：地域包括支援センター管理者 渡 邊 誓 子
ご家族代表 原 メイ子
(委員5名中5名出席)
医療法人社団柏信会 看護部長 仲 保 寿恵子
グループホーム「櫻」 管理者 菅 谷 弘 子
事務長 遠 藤 勝 三

会 議 概 要

1. 開会の辞

定刻、管理者は各委員に年末繁忙の折、本日の出席を謝すとともに、当法人の角野理事長が所用のため出席できない事及び理事長挨拶を割愛、議案に入る旨を伝え了承を得る。

2. 議案

管理者は議事の進行及び報告等を事務長に指示。

事務長は配布資料の確認をした後、会議次第に基づき報告説明を行った。

3. 議題

(1) 報告事項

ア 運営状況(現況)等について

： 入居者の現況(21.12.1現在)

別紙資料の合計欄、一部訂正(要介護4が6を5に、最高齢94歳を95歳に)後、資料に基づき現況を説明。

開設当初に比し要介護度が進みグループホーム本来の目的から逸脱、準特別養護老人ホームの容態を呈しつつありグループホームの今後における切実な課題であり、そのような中で現在の入居待ち状

態は逗子市住民で8名を数えている旨を補足。

： 活動状況

別紙資料、(さくら10・11・12月号)による他概要報告は以下の通り。

主な活動状況は「さくら」の写真によるが、ボランティアの活用、ご家族との懇談、文化祭(菊展)、漁港や国際村、南郷公園、近隣の公園散策など室内運動も含め日々の生活に変化が付けられた。

また、今後の主な行事の予定として、恒例ではあるがクリスマス会、正月の飾りつけと年越し、元旦、書初め、初詣、七草まで室内が主であるが利用者様の楽しい時間作りに努めていく旨を補足。

イ スプリンクラー設置に伴う進捗状況について

事務長は以下口頭で報告。

11月26日(木)13:00より倉本設計立会いの下、各業者のヒヤリングを行い、翌週に最終見積書の提出をもって理事長の決済を受け業者の決定を見ました。

当初、5社が参加したが途中1社が辞退、1社は当方の希望条件に合致できなかったため書類審査の段階で除外、残り3社で行った。株式会社 大神設備工業(見積額9,450,000円)が書類、工法、メンテナンス、フットワーク等信頼性が高いことにより決定する。

今後、業者との仮契約打ち合わせ(12月)補助金の申請書類の作成(1月)逗子市への補助金申請(2月)補助金の交付決定交付(7月)工事期間の設定、工事着工(8月)の予定である。

ウ 外部評価の実施について

22年1月21日(木)外部評価及び情報公開訪問調査を受査する予定で、現在関係資料の作成に当たっている。情報公開は初の受査となる。結果については次回会議においてご報告を予定。(事務長)

(2) その他

懇談会形式で意見等の交換を行う。主な発言等は以下の通り。

ア スプリンクラーの設置については、補助金担当の福祉課に報告、調整をしながら作業を進めたほうが良い。(館委員)

イ 12月24日に業者が来所予定、細部調整のうえ福祉課に報告、指示を仰ぎたい。(管理者・事務長)

- ウ スプリンクラーの維持管理について、点検報告等に余分な費用がかかるがその点はどうなるか。(杉浦委員)
 - エ 現在の消防設備点検業者にセットの依頼とするか、単件で設置業者に依頼するか、いずれにしても費用はかかるので業者と相談して決めて行きたい。(管理者。事務長)
 - オ 工事中における利用者の生活については、業者と相談しながら負担の軽減を図って行きたい。(管理者)
 - カ 新型インフルエンザの現況は、罹患した場合の対応は。(杉浦委員)
 - キ 病院が控えているので利用者の場合は特に心配は無いが、スタッフが罹患した場合、運営上支障が出る。現時点では来訪者の手指の消毒、マスクの着用について協力を要請している。(管理者)
 - ク 現時点では流行が下火になり、ワクチンの供給も見通しが出て一応安心はしている。(事務長)
 - ケ 介護職員の処遇改善事業の利用については。(館委員)
 - ク 現在、事業の継続に不透明感があり、法人全体の給与バランスを考慮するとき利用については躊躇せざるを得ない状況である。次年度以降の状況を見極め対応したい。(事務長)
- 以上、その他は割愛する。

5. 閉会の辞

議案等の終了を見届け予定時間に至ったので、管理者は各委員に対し次回開催を確認(3月末の火曜日)すると共に、本日の出席を謝し閉会を宣した。